

## 1 取組の概要及び成果等

### (1) 取組の概要

- ① 農業・自然体験活動の企画とその指導・援助の学習  
(サツマイモ苗植え・掘りとり, 草花の播種・鉢上げ・植え付け)
- ② 食・農体験活動  
(食材の研究・栽培・利用法の研究)
- ③ 社会奉仕に関する体験活動  
(草花プランターの配布, 出前測量)

### (2) 特に工夫や配慮をした事項

- ① 農業・自然体験活動の企画と, その指導・援助を行う学習に当たっては, 下記の点に重点を置く。
  - ア 農業のもつ多面的な機能を活用し, 農業・自然体験活動の受け入れと企画をする。
  - イ 農業体験や自然体験を展開することができ, その指導ができる。
  - ウ 受け入れた児童・生徒などに対し, 安全な指導と心のこもるサービスの展開ができる。
- ② 食・農体験活動を行うに当たっては, 下記の点に重点を置く。
  - ア 食の安全性を限りなく追求した食材を提供できる。
  - イ 食農教育活動を行い, 地産地消を促進することで, 中学生の地域に関する興味・関心を高め, 環境保全産業である農業振興の涵養を図る。
- ③ 社旗奉仕に関する体験活動を行うに当たっては, 下記の点に重点を置く。
  - ア 地域の人と協議・連携し, 地域社会に貢献することで, 地域を愛する心を育成し, 成就感や達成感を味わわせる。
  - イ 幅広い対人関係を通して, 豊かな自己表現力を身に付けさせる。
  - ウ 地域の中学校に出前測量(サッカーコートや陸上トラック作成)に行くことで, 社会性を養うとともに自信をもたせる。

### (3) 成果等

- ① サツマイモの栽培体験指導・援助
  - ア サツマイモの苗植え体験
    - 5月 桜川市立まかべ幼稚園(園児100名)
    - 桜川市立やまと幼稚園(園児80名)
  - イ サツマイモの掘りとり体験
    - 10月 筑西市立協和保育園(園児80名)
    - 桜川市立まかべ幼稚園(園児80名)
    - 橘保育園(園児100名)
    - 桜川市立やまと幼稚園(園児120名)
- ② 花の町づくり体験(町を飾る草花の栽培・管理など)
  - 4月, 5月 第I期装飾用草花の播種  
(サルビア, マリーゴールド, ペチュニア, ベコニア等30,000粒)
  - 5月, 6月 黒ポットへの鉢あげ, プランターへの植え付け
  - 7月 第I期プランターの配付・設置
    - ・桜川市立桃山中学校1年生による, 各通学区へのプランター配付・設置  
(プランター数300 期間7月1日~7月6日, 生徒1人2プランターを担当し, 高校生の指導のもと, 維持管理する。)
    - ・真壁町商店街通りに, プランター設置・・・プランター数800  
(マリーゴールド通り, サルビア通り, ペチュニア通りなど)
    - ・真壁町公共施設にプランター設置・・・プランター数400

7月, 8月 第Ⅱ期装飾用草花の播種(パンジーなど約20,000粒)

※暑さなどの影響でほとんど発芽せず, 播きなおしする。

・商工会女性部と協力して, 町に飾るハンギング用ベコニアの栽培

9月, 10月 黒ポットへの鉢あげ, プランターへの植え付け

11月 プランターへの植え付け

12月 桜川市立桜川中学校生と協力して花壇の作成

12月, 1月 第Ⅱ期プランターの配付・設置

・桜川市立桃山中学校1年生と真壁高校生による町へのプランター設置, 並びに中学校でのプランター設置・・・プランター数 1,000

・桜川市立桜川中学校1年生と真壁高校生による花壇作り

### ③ 食農体験活動

・農作業体験, 食生活指導(食生活の学習並びにアンケート) 1月

桜川市立桜川中学校1年生

・真壁高校産の無農薬, 無化学栽培の食材を使った料理コンテスト 2月

桜川市立桜川中学校1年生

### ④ 地域への出前測量

#### ア 出前測量

・桜川市真壁グラウンド 平成19年2月24・25日 サッカーコート作成

・桜川市立桃山中学校 平成19年2月26日 200m陸上トラック作成

・筑西市立下館南中学校 平成19年12月18日 サッカーコート 300mトラック作成

#### イ 出張授業

近隣中学生に測量の楽しさを体験してもらうために, 3部構成で行なった。第1部は高校生による授業, 第2部は高校生と中学生による測量実習, 第3部は意見交換である。

・桜川市立桃山中学校

第1部 平成19年4月11日

第2部 平成19年5月7日 サッカーコート作成

## 2 学校の推進体制と学校支援委員会の活動

### (1) 学校の推進体制と学校支援委員会の活動の概要

学校長の監督の下, 教頭, 農場長を中心に, 関係学科(農業科, 環境緑地科, 食品化学科, 普通科), 生徒会, 花の里づくり実行委員会, 農業研究部, 農業クラブなどの校務分掌の担当者が, この事業を推進した。

### (2) 成果等

担当者を中心に, 学校全体の協力のもと, 充実した事業が展開できた。

## 3 今後の課題と改善点

○ 活動回数と内容が充実している反面, 中心になって活動する生徒, 担当者に過度の負担がかかってしまっている実態がある。

○ 年間計画をさらに緻密にし, いかにスムーズに展開するかが, 今後の課題である。特に, 旧真壁町の地域の人との連携は, 組織や活動形態に関して, 研究・検討を重ねる必要がある。